

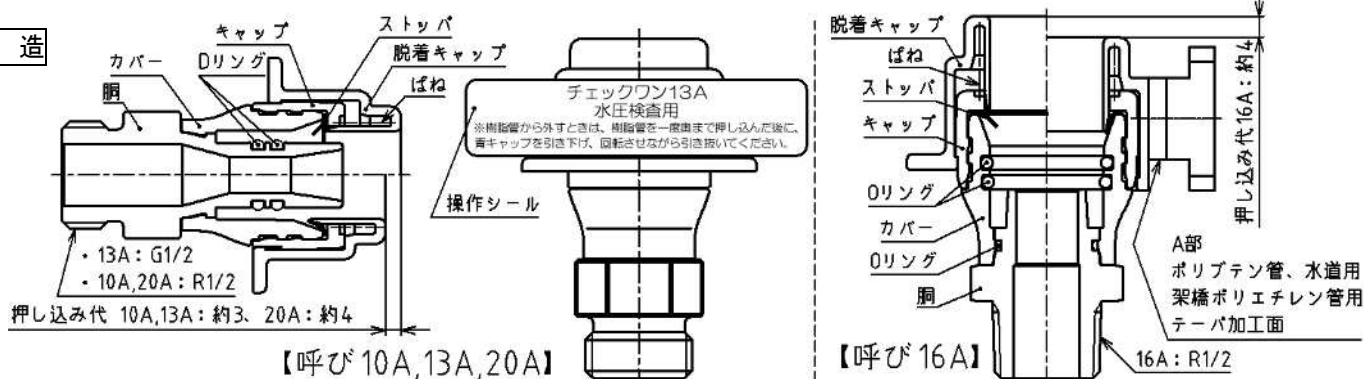
水圧検査用継手「チェックワン 10A,13A,16A,20A」取扱説明書

はじめに 本製品は、配管の水圧検査を行う際に、樹脂管の端部に容易に取り付け、取り外しができる**水圧検査用の製品**です。空気圧検査には使用しないでください。

仕 様

製品コード	713580
呼 び	① 10A×R1/2、② 13A×G1/2、③ 16A×R1/2、④ 20A×R1/2 ※ねじ接続形状 10A,16A,20A は、テーパおねじ。 13A は、平行おねじ。
適合管種	・架橋ポリエチレン管(JIS K 6769 PN15 M 種 XM および、E 種 XE※注¹) ※注 1. 16A,20A のみ ・水道用架橋ポリエチレン管(JIS K 6787 M 種 XM および、E 種 XE※注²) ※注 2. 16A,20A のみ ・ポリブテン管(JIS K 6778 J 種) ・ME 架橋ポリエチレン管(日本水道協会認証品) ・暖房用架橋ポリエチレン管(JXPA 401)※注³ ※注 3. 10A のみ
使用流体	水道水
最高使用圧力	1. 75MPa

構 造



施工方法

①パイプカッターを使用して管端が管軸に対して直角になるように切断します。

2mmを超える斜めの切断はしないでください。

②適合する樹脂管であることを確認後、本製品を袋から取り出します。

③以下の管の場合、必ず管外径部にテーパを付けてください。

16A にポリブテン管または、水道用架橋ポリエチレン管 M 種 XM を使用する場合は、差し込む前に脱着キャップの A 部テーパ加工面(右図参照)で必ず管外径部にテーパを付けてください。A 部に樹脂管を差し込み、強く押し付けながら、継手を 5 回転程時計回りに回すことでテーパが付きます。

管外径にテーパが付いていない状態で樹脂管を差し込むと内部の O リングを傷つけ、止水不良になる恐れがあります。

④樹脂管が製品の奥に突き当たるまで確実に差し込みます。

⑤樹脂管が奥まで差し込まれていることを目視で確認してください。

⑥樹脂管を手で引張り、抜けないことを確認します。

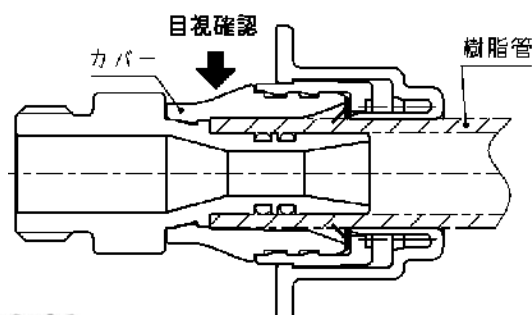
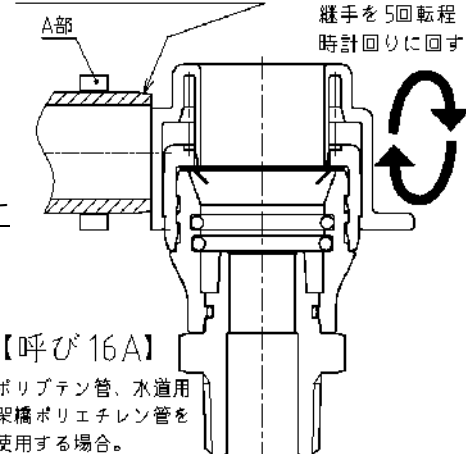
樹脂管が差し込まれていることを再確認します。

⑦テストポンプで水圧をかけ配管内のエア抜きを行います。

⑧エア抜き後、ゴムパッキン付キャップナット(別売り:製品コード B41A-24-13Q)でねじ込み止水し、水圧検査を行います。

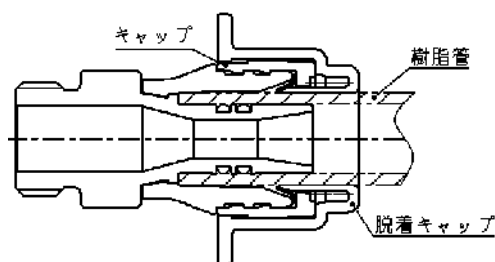
⑨水圧検査が終了したら、ゴムパッキン付キャップナットを緩め圧力を抜きます。

継手を持って、樹脂管を A 部に差し込み、強く押し付けながら継手を 5 回転程時計回りに回す。



【裏面に続く】

- ⑩圧力を抜いた後に、樹脂管に食い込んだストッパを開放しやすくするため、樹脂管を再度奥まで差し込んでください。次に、青色の脱着キャップを黒色のキャップが見えなくなる(隠れる)まで引き下げた状態で、回転させながら樹脂管を引き抜きます。



【手順1】

圧力を抜いた後に、樹脂管に食い込んだストッパを開放しやすくするため、樹脂管を再度奥まで差し込む。

【手順2】

青色の脱着キャップを黒色のキャップが隠れるまで引き下げ、回転させながら樹脂管を引き抜く。

- ⑩水圧検査後の管表面に残るストッパ痕(傷)を取り除くため、管端から50mm以上の位置を切断して下さい。

「チェックワン」 安全上の注意事項

■施工前に、この「安全上の注意事項」をよくお読みになり、正しく取り扱ってください。

	注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、障害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。
--	-----------	--

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

	行ってはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
	気をつけていただく「注意喚起」内容です。		分解しないでください。

■下記事項を遵守されなかった場合の漏れなどの事故については責任を負いかねます。

	注意
	●本製品を放り投げたり乱暴に扱わないでください。 ●樹脂管挿入部の内外面及び継手にキズ・汚れ・ゴミの付着が無いことを確認してください。樹脂管及び本製品のキズ・汚れ・ゴミの付着は漏水の原因となります。 ●ねじ込みの際、レンチ等を使用する場合には、六角部に掛けて使用してください。※樹脂製の胴の場合、過度な力を加えると変形、破損する恐れがあります。 ●キズや座屈の生じた樹脂管は使用しないでください。 ●本製品を再度使用するときは、本製品の梱包袋に入れて保管するなど、内部にゴミが混入しないようにしてください。 ●樹脂製のねじの場合、ねじゲージに適合していない場合があります。
	●作業は、手袋などを使用し、手の保護をしてください。 ●樹脂管の切断は必ず専用パイプカッターを用いて、管軸に対して直角に切断してください。斜め切断、専用パイプカッター以外による切断は、漏水の原因となります。 ●本製品に管を差し込んだ後は、目視にて確認と引張って抜けないことを確認してください。差し込み忘れ・差し込み不足は漏水の原因となります。 ●本製品には、適合する樹脂管をご使用ください。 ●水圧検査後、本製品を樹脂管から取り外すときは、必ず水圧が無いことを確認してください。 ●水圧検査後、管端から50mm以上の位置で、管軸に対して直角に切断してください。
	●本製品は、水圧検査用です。空気圧検査や、それ以外の目的にも使用しないでください。 ●水圧検査で加圧中は、本製品を作業者に向けないようにしてください。 ●直射日光の当たる場所に、保管や配管はしないでください。止むを得ず屋外露出する場合には、適切な遮光処置を施してください。 ●火気を近づけないでください。火の粉や高熱により損傷劣化する恐れがあります。 ●加圧状態で樹脂管を回したりしないでください。 ●本製品の接続部分に、固定バンドやレンチ等かけたりぶつかけたりしないでください。 ●樹脂管及び本製品の施工時には、潤滑剤や溶剤、洗剤などを使用しないでください。 ●樹脂管及び本製品は、薬品等に対して侵される性質があります。有機溶剤及びそれらを含む製品(泡状ウレタン、防蟻剤、灯油、ペンキ、接着剤、防腐剤、殺虫剤、除草剤、不凍液、可塑剤を含んだ材料等)が、樹脂管及び本製品に付着しないようにしてください。
	●分解・再組立てによるトラブルなどは責任を負いかねます。

※製品、ご使用方法などについてのお問い合わせは、弊社最寄りの営業所までご連絡ください。

M8019